

第14回バイオコントロール研究会のお知らせ

日本植物病理学会第14回バイオコントロール研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。万障繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催期日：平成28年3月24日（木）

会場：岡山大学 一般教育棟 B41 教室

統一テーマ：微生物農薬の研究開発の方向性と研究シーズの融合に向けて

主催・共催：バイオコントロール研究会

参加費（講演要旨集合）：3,000円（講演要旨のみ、2,000円）当日受付にて徴収、事前申し込み不要

プログラム

9:30～9:35 開会の挨拶

基調講演

9:35～10:00 日本植物病理学会に見る生物的防除関連研究
兵庫県立農林水産技術総合センター 相野公孝

第一部 国内外における微生物農薬開発の現状と方向性

10:00～10:30 ヨーロッパにおける微生物農薬開発研究の現状
岐阜大学 清水将文

10:30～11:00 韓国親環境農業における微生物資材の利用状況
農研機構 中央農業総合研究センター 橋本知義
韓国農村振興庁 農業科学院農業環境部 Park Kwang-Lai

11:00～11:30 FNCA バイオ肥料プロジェクトでの耐病性機能を付与した多機能バイオ肥料の開発について
東京農工大学 横山 正

11:30～12:00 新規微生物殺菌剤シュードモナス ロデシア（マスタピース）水和剤の開発と生物活性
日本曹達（株） 前田光紀

12:00～13:30 〈休憩・幹事会〉

第二部 微生物農薬開発に向けた研究シーズとその展開

13:30～14:00 非病原性 *Plectosphaerella* sp. 株を用いたセルリー萎黄病およびイチゴ萎黄病の生物防除の検討
長野県野菜花き試験場 山岸菜穂

14:00～14:30 *Xanthomonas* 属細菌による病害全般に防除効果を持つ微生物農薬開発の試み
農研機構 中央農業総合研究センター 井上康宏

14:30～15:00 かび毒デオキシニバレノールの分解微生物の探索およびその活用の可能性
名古屋大学 佐藤育男
早稲田大学 伊藤通浩

15:00～15:30 有用微生物の探索とそれらの種子処理技術に関する取り組み
東京農業大学 篠原弘亮

15:30 閉会の挨拶

問い合わせ先：第14回バイオコントロール研究会現地開催事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1-1

岡山大学農学部応用植物科学コース遺伝子細胞工学ユニット

一瀬 勇規

TEL: 086-251-8308 E-mail: yuki@okayama-u.ac.jp